



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トーアミ  
 コード番号 5973 URL <http://www.toami.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北川芳仁  
 (氏名) 服部利昭  
 配当支払開始予定日

TEL 072-876-1121  
 平成28年12月5日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,218	△22.3	64	64.9	104	47.0	110	70.0
28年3月期第2四半期	6,715	△8.7	38	△25.3	70	△26.9	64	△14.8

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 80百万円 (140.2%) 28年3月期第2四半期 33百万円 (△10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	17.90	—
28年3月期第2四半期	10.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	14,432	10,761	74.6
28年3月期	14,721	10,726	72.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 10,761百万円 28年3月期 10,726百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	7.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	△17.0	240	△31.3	290	△28.2	280	△22.8	45.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	6,400,000 株	28年3月期	6,400,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	248,950 株	28年3月期	248,950 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	6,151,050 株	28年3月期2Q	6,151,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の景況感及び個人消費の動向に一部弱さがみられたものの、大企業を中心とする収益改善傾向が続き、雇用及び雇用所得環境も堅調に推移したことから、景気は底堅さを持続したまま緩やかな回復基調を辿りました。

一方、米国の金融政策の動きや、中国をはじめとするアジア諸国、さらには資源国の経済減速などの影響から、景気の先行きに対する不透明さも増しつつあります。

当社グループの主な事業分野である建設・土木業界におきましては、建設需要全体としてはほぼ横ばいで推移したものの、建設費の高止まりなどによる分譲マンションの着工数の減少や、工期短縮を目的に鉄骨造りへのシフトなどから鉄筋需要が伸び悩み、さらに少ない案件をめぐる同業者間の競争による販売価格の落ち込みもあつたことから、受注環境も厳しい状況が続きました。

このような環境において、当社グループは、選別受注等により利益率の向上に努めましたが、販売量の減少が大きく影響し、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、52億18百万円（前年同四半期比22.3%減）となりました。

損益面におきましては、原材料の調達管理及び経費削減を徹底することなどにより、売上原価率の引き下げに努め、当第2四半期連結累計期間の営業利益は64百万円（前年同四半期比64.9%増）、経常利益は1億4百万円（前年同四半期比47.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億10百万円（前年同四半期比70.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、144億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億89百万円減少しました。主な要因としましては、現金及び預金が47百万円、原材料及び貯蔵品が4億90百万円、関係会社長期貸付金が73百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が7億30百万円、電子記録債権が1億63百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、36億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少しました。主な要因としましては、支払手形及び買掛金が75百万円、短期借入金が94百万円、その他流動負債が96百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、107億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加しました。これにより、自己資本比率は74.6%となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、23億35百万円となり、前年同四半期末に比べ9億67百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、2億92百万円の獲得（前年同四半期比3百万円の減少）となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益1億4百万円を計上し、売上債権が8億93百万円及び仕入債務が75百万円それぞれ減少し、たな卸資産が5億47百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1億4百万円の支出（前年同四半期比23百万円の減少）となりました。主な要因としましては、関係会社貸付けによる支出84百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1億40百万円の支出（前年同四半期比59百万円の増加）となりました。主な要因としましては、短期借入金の純減額94百万円と配当金の支払額46百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に公表しました平成29年3月期の連結業績予想を本日修正しております。当社グループといたしましては、このような環境のもと、より一層の売上高増加とコスト削減の実施による収益の確保に努めてまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,288,226	2,335,261
受取手形及び売掛金	3,996,536	3,265,863
電子記録債権	501,052	337,879
商品及び製品	468,329	518,345
仕掛品	219,048	225,669
原材料及び貯蔵品	1,037,048	1,527,443
繰延税金資産	117,643	112,643
その他	9,046	53,281
貸倒引当金	△1,937	△1,646
流動資産合計	8,634,994	8,374,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	878,677	858,743
機械装置及び運搬具(純額)	444,058	393,920
土地	3,746,531	3,746,531
建設仮勘定	6,600	10,517
その他(純額)	13,281	13,545
有形固定資産合計	5,089,150	5,023,258
無形固定資産		
その他	37,483	50,537
無形固定資産合計	37,483	50,537
投資その他の資産		
投資有価証券	599,420	537,468
関係会社長期貸付金	—	73,733
関係会社出資金	182,432	182,432
退職給付に係る資産	98,026	113,443
その他	85,734	82,499
貸倒引当金	△5,820	△5,820
投資その他の資産合計	959,793	983,757
固定資産合計	6,086,427	6,057,554
資産合計	14,721,422	14,432,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,424,308	1,348,442
短期借入金	1,288,000	1,194,000
リース債務	1,121	1,121
未払法人税等	45,040	29,493
賞与引当金	93,444	85,879
その他	443,961	347,537
流動負債合計	3,295,875	3,006,473
固定負債		
リース債務	3,364	2,803
繰延税金負債	327,023	283,537
役員退職慰労引当金	303,590	308,428
退職給付に係る負債	49,285	53,590
その他	15,415	15,834
固定負債合計	698,679	664,194
負債合計	3,994,554	3,670,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,800	1,290,800
資本剰余金	1,207,310	1,207,310
利益剰余金	8,239,424	8,303,424
自己株式	△112,787	△112,787
株主資本合計	10,624,747	10,688,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,038	160,570
繰延ヘッジ損益	△6,727	473
退職給付に係る調整累計額	△95,190	△88,165
その他の包括利益累計額合計	102,120	72,878
純資産合計	10,726,867	10,761,626
負債純資産合計	14,721,422	14,432,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	6,715,606	5,218,142
売上原価	5,609,122	4,161,310
売上総利益	1,106,484	1,056,832
販売費及び一般管理費	1,067,517	992,556
営業利益	38,966	64,275
営業外収益		
受取利息	88	647
受取配当金	6,085	5,126
為替差益	11,999	24,618
受取賃貸料	10,396	9,408
その他	9,017	4,625
営業外収益合計	37,587	44,426
営業外費用		
支払利息	3,717	2,881
売上割引	1,319	991
その他	591	597
営業外費用合計	5,628	4,470
経常利益	70,925	104,231
特別利益		
固定資産売却益	5,473	403
特別利益合計	5,473	403
税金等調整前四半期純利益	76,399	104,634
法人税、住民税及び事業税	5,950	20,118
法人税等調整額	5,669	△25,616
法人税等合計	11,620	△5,498
四半期純利益	64,779	110,133
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,779	110,133



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	64,779	110,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,443	△43,467
繰延ヘッジ損益	△2,182	7,200
退職給付に係る調整額	1,521	7,025
その他の包括利益合計	△31,105	△29,241
四半期包括利益	33,673	80,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,673	80,891
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	76,399	104,634
減価償却費	104,573	93,413
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△282	△290
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,770	△7,565
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,276	4,305
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△17,172	△5,291
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,075	4,838
受取利息及び受取配当金	△6,174	△5,773
支払利息	3,717	2,881
売上債権の増減額 (△は増加)	402,404	893,846
たな卸資産の増減額 (△は増加)	14,439	△547,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△126,910	△75,865
その他	△143,632	△135,921
小計	312,942	326,180
利息及び配当金の受取額	6,168	5,769
利息の支払額	△3,694	△2,859
法人税等の支払額	△19,722	△37,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	295,694	292,071
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△37,846	△3,971
有形固定資産の売却による収入	5,473	3,610
無形固定資産の取得による支出	△3,380	△18,424
投資有価証券の取得による支出	△512	△700
投資有価証券の払込資金からの払戻しによる収入	100	—
関係会社出資金の払込による支出	△91,672	—
関係会社貸付けによる支出	—	△84,785
その他	109	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,729	△104,410
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△34,000	△94,000
配当金の支払額	△46,434	△46,037
リース債務の返済による支出	△560	△560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,994	△140,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,971	47,035
現金及び現金同等物の期首残高	1,281,051	2,288,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,368,022	2,335,261

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。